

ぐるっと
250キロ

サツマイモ植え

小木

さわやかに晴れた5月19日(水)の午前中、地元の石塚さんの指導を得て、小木保育園4歳児23人と深浦保育園1歳から5歳児15人が、琴浦地区で合同サツマイモ苗植えを行いました。

焼き芋や天ぷらに合う「紅あずま」と、干し芋用の「玉豊」の2種類のサツマイモは、秋の採り入れまでの間、指導してくれた石塚さんと、園児たちの手で、「おいしく育て」・「大きくな～れ」と水やりや草取りを行います。手渡された苗を、「顔より大きなイモに育ちますように」と、小さな手で1本1本大切に植えていきました。



◀▲大きなイモに育ちますように



ぐるっと
250キロ

近藤拓未君 全国大会出場決める!!

佐和田

5月16日(日)、新潟市で行われた全国小学生バドミントンABC大会県予選Aクラス5・6年の部で、二宮小学校5年生、近藤拓未君がみごと熱戦を勝ちぬき優勝しました。

8月20日～22日に行われる全国大会に新潟県代表として出場します。近藤君は全国大会での上位入賞をめざして、毎日練習に取り組んでいます。市民の暖かいご声援をお願いします。

賞状を手にした
近藤拓未くん▶



ぐるっと
250キロ

「佐渡の車田植」 (北鶴島)

両津

5月20日(木)、北鶴島の北村家に古くから伝わる「車田植」が行われました。田植えじまいの習わしとして、苗を直線に植えずに田の中心から後ろ向きで渦巻状に植え付けていきます。かつては全国各地で見られましたが、現在ではここ岐阜県高山市にしか残されておらず、「佐渡の車田植」は国の重要無形民俗文化財に指定されています。

天候にも恵まれ、あぜの田植え歌がのどかに響きわたる中、3人の早乙女の手で見事に苗が円を描きました。今回から田植え歌にも後継者ができたようです。



▲車田植の看板



▲田植え歌が響きわたる中で